

T u t t i

岡山県合唱連盟機関紙トゥッティ121号

発行責任者：事務局長 内 田 毅

事務局：岡山市中区福泊 168-7 内田方

TEL:090-4695-7826/FAX:086-274-2726

e-mail : utida2443@gmail.com

主な内容

- 2面 コンクール全国大会報告
岡山城東高等学校合唱部
- 3面 コンクール全国大会報告
倉敷少年少女合唱団
- 4面 コンクール全国大会報告
合唱団こぶ

連盟加盟の拡大のために ～加盟のメリットをどうアピールするか?～

岡山県合唱連盟 副理事長 松下泰久

2月9日(日)に倉敷芸文館にて第32回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテストを実施しました。人間なら「世代交代」の30年を超えた今、ふり返れば初期の頃は歌以外の部分での「パフォーマンス」をアピールする団体もあり、とにかく少人数でハーモニーを奏でると意識の新たな芽生えであったろうと思います。

ところが、福島県での全国大会への「予選」の意味合いも含まれてきた頃から、少人数でのアカペラの純正なアンサンブルを追求する大会への変貌を遂げてきました。

さらに近年は連盟組織拡大につながるよう、非加盟でも参加可能なルールにしたことにより、毎年幾つもの非加盟団体が加わるようになってきました。ただそれが即加盟につながらないのをどうクリアも今後の課題ですが、少なくとも少人数でどう美しいハーモニーをつくるか、大人数での迫力ある大合唱のイメージとは別の楽しみ方の裾野を広げるという方向性はそのまま追求することになりそうです。

ところで、今回の大会を通じて感じたことを書き留めておきます。

一つ目、一般の部に、大学生とそのOBを中心とした団体も多く、コロナ禍での大学生のサークル活動の低迷からの脱却に一筋の光明を見いだせたようにも思えます。コロナ禍での約3年の停滞期をどう取り戻すか、それは「現役世代」と「この前まで現役世代」とのつながりという点で何らかの

「化学反応」が起きないかと期待するところでした。

二つ目、全52団体と言いながら、同じ合唱団所属のグループも多く、参加団体の数がそのまま積極的な県連の活動を意味するものではないということです。また、非加盟団体についても「また来年参加してくださいね」ではなく、いかに他のイベントに巻き込んでいくか、つまり連盟の「お得感」をどう感じてもらうか、その工夫を研修委員会や広報委員会の活動を通じてひねり出していくことが急がれます。それは「連盟加盟なら非加盟よりも参加料が安い」等の目先のことではなく、加盟することで自分たちの活動にどう連盟の「支援」を結びつけるかという、非加盟側の視点が大切ではないかと思えたイベントになりました。

審査員の先生方、スタッフさん、一日お世話になりました！

(ハーモニー春号にいただいた原稿を転載しました。)

第32回岡山県ヴォーカルアンサンブルコンテスト・受賞結果(金賞のみ)

部門	出演順	出場団体グループ名	賞	全国	優秀賞・グランプリ
1小学・ジュニア	1	倉敷少年少女ジュニア	金		優秀賞
1小学・ジュニア	5	岡山楳の木少年少女合唱団	金		
2中学校	2	かくれんぼするものよっといで @西中	金	全国	優秀賞
2中学校	3	総社西歌劇団 鳳仙花組	金		
3高等学校	5	ウィンターめりいごーらんど風なのかい? そうなのでアルツ!	金		
3高等学校	6	Gen氏物語～うたう君へ～	金		
3高等学校	7	金光学園ガールズ	金	全国	優秀賞
3高等学校	8	岡山学芸館合唱部B	金		
4女声合唱	9	倉敷少年少女NewFaceアラジン定演聴きに来てね	金		
4女声合唱	12	コール・リガール	金		
4女声合唱	13	Coro Place	金		
4女声合唱	14	岡山楳の木少年少女合唱団A	金		
4女声合唱	16	倉敷少年少女シニア	金	全国	優秀賞・グランプリ
4女声合唱	17	レ・シャンシヤン	金		
5男声合唱	3	Men's Vocal Ensemble A Camel	金		優秀賞
5男声合唱	5	一番搾り	金		
6混声合唱	5	Flügel	金		
6混声合唱	7	k-moll	金		優秀賞
6混声合唱	8	J-dur	金		

コンクール全国大会を振り返って

OJC サウンド

岡山城東高校合唱部部長 永泉 沙織

全日本合唱コンクール全国大会では初めて全員がステージに立つことができました。その日、私はホールにオーロラを作り上げることができ、聴いてくださる方に OJC サウンドを届けられたのではないかと思います。

私たちは今年のコンクールの自由曲として

「Rivers of Light」を選びました。この曲は、オーロラの美しさや神秘的な自然の壮大さを語る英語の曲です。曲決めに悩んでいた時、森野先生が却" 却以前コロナ禍でコンクールが中止され、ホールで歌うことができなかつた曲をリベンジしよう却" 却と提案してくださり、この曲とともにコンクールへの挑戦が始まりました。

私たちは「全国大会上位入賞」「人の心に響く演奏」の二つの目標を掲げて活動してきました。日々忙しく、また感染症による影響がある中での練習は、なかなか全員が集まらず、曲を合わせるのにとっても苦戦しました。少ない時間で効率的に練習するために、部員全員で部活に対する意気込みを話し合ったり、自主練の時には少人数で合わせたりしました。

全国大会の舞台に立った時には、今までの努力が一つ一つ実を結び、胸に込み上げてくる感情でいっぱいになりました。埼玉ソニックシティという大きなホールに自分たちの歌声が響き、オーロラを作れたこと、たくさんの方々の心に響く演奏ができたことは、何にも代えがたい貴重な体験です。歌が大好きな仲間とともに音楽を作り上げ、成長できたことに喜びと誇りを感じています。

最後に、いつも私たちをサポートしてくださった先生方や保護者の方、温かいお言葉や寄付金などを通して応援してくださった多くの方のおかげで、充実した楽しい合唱生活を過ごすことができました。心より感謝いたします。

私たち合唱部はこれからも多くの舞台に立ち、全国の皆様にさらに磨きのかかった演奏を届けられるよう「歌が好き」の気持ちを忘れず、個性豊かなたくさんの仲間たちとともに精進してまいります。



2024 全日本合唱コンクール「全国大会」シード出場と 4回目の「全国金賞」受賞のご報告とお礼

倉敷少年少女合唱団・指揮者・難波夕鼓

皆様の応援により、2023 全国大会で、思わぬ「文部科学大臣賞」「全国 1 位」を受賞、岡山県初、中国地方一般初の全国大会シード出場が決まり、子ども達と大変貴重な経験をさせていただいた。課題曲は初めて F1 ルネサンス曲に取り組み、大変苦労したが、最終的には表彰式壇上で全日本理事長からもお褒めのお言葉を賜った。また、2019 全国大会で「初全国金賞・カワイ奨励賞」からご縁を賜った鈴木輝昭先生の「委嘱曲」に挑戦する素晴らしさと難しさも経験する事ができた。(先生からぜひ演奏を残したいとご依頼あり、レコーディングも経験させていただいた。)幸運とただ感謝していたシードに、多くの方々からプレッシャーを心配され、多くの手をさしのべていただき、無事「4 回目の全国金賞」を受賞した。

現在、子ども達はアンコン県大会を控えている。アンコン全国大会では、2023 全国 3 位、2024 全国 2 位受賞の為、「次は全国 1 位を…」と期待の声もあり、最後のアンコンとなる最高学年団員を中心に県代

表出場を目指している。先日は、全日本全国大会でお世話になった愛媛県から、アンコン審査員のご依頼を受け、審査員の側からアンコンを経験する事ができ、大変勉強になった。また、他県連に講師としてお伺いした時など、岡山県の合唱について色々お尋ねいただく機会も増えた。全日本からも来年の「JCA ユース倉敷を楽しみにしている」と嬉しいお声がけを頂戴し、岡山・倉敷の地名が合唱界の多くの方々に注目いただける様、アンコン全国大会出場と上位入賞を目指し、子ども達と渾身の演奏を響かせていきたい。

当団の子ども達が活躍させていただけるのも、県連の皆様のご支援のお陰とお礼申し上げます。近年、トップチームに続く中間層も力をつけ、全日本こどもコーラスフェスでの活躍が期待されます。昨年超えのペースで大勢の新入団員もあり、4 月の定演、ミュージカル「アラジン」上演に向け楽しく練習しています。歌の好きなお子様、体験見学にお越し下さい！



コンクール全国大会を振り返って

合唱団こぶ 団長 徳重公一郎

合唱曲「誰かがいなくなっても青い空」を全国の舞台で演奏する、という目標のもと、県大会・中国大会そして全国大会出場の機会を頂けたことは、こぶとして何よりの喜びでありそして、この曲に対して真正面に向き合った時間でした。

コンクール全国大会開催にあたり、ご尽力いただきました全日本合唱連盟、愛媛県合唱連盟、運営スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

こぶくん'24にて委嘱初演したこの曲を、全国大会のステージで誰一人欠けることなく舞台に立つことを願って練習をしてまいりました。

そして当日(日帰り…)は、バスで移動組は6:30の集合に遅れることなく(笑)全員集合。現地合流組も練習会場に全員集まることが出来ました!

今年は総社高校合唱部と部活動地域連携を行なって、初めての全国大会出場となりました。こぶと一緒に、コンクールに挑んだ5名が全国の舞台に立てたことにどのような感情を抱き、そして他団体の演奏を聴いてどのように思ってくれたのか…。高校を卒業しても、合唱を愛続けてくれる機会になったことを願っています。

最後に私たちは、これからも総社、岡山、全国の皆様に愛される合唱団として、夢に向かって歌ってまいります。こぶが活動できるのは、携わった方々のご協力そして、団員の家族の支えがあってこそだと思います。これからも、合唱団こぶは元気いっぱい活動して参ります。今後もよろしくお願いいたします。



※写真は総社高校合唱部の5人と、全国大会で誘導して下さったお二人と一緒に撮っていただいたものです。改めてありがとうございました。

